

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	でいさーびす あいりんご5		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 2 月 1 日		～ 令和 7 年 2 月 28 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34人	(回答者数) 25組
○従業者評価実施期間	令和 7 年 2 月 1 日		～ 令和 7 年 2 月 28 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 3 月 21 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	土曜日・祝日・長期休みを中心に、積極的に外出活動を実施しています。これは、子どもたちに多様な経験を提供し、社会性や生活スキルを育むことを目的としています。	<ul style="list-style-type: none"> 安全対策の徹底 緊急時対応マニュアルの整備 スタッフ配置の工夫 交通ルールや公共マナーの学び 	安全面のさらなる強化 <ul style="list-style-type: none"> GPS機器の活用 外出時に子どもたちの現在地をリアルタイムで把握できるシステムを導入し、安全性を向上させる。 <ul style="list-style-type: none"> 小グループ活動の推進 大人数での移動ではなく、数人のグループ単位で行動し、より細やかなサポートができる体制を整える。
2	当事業所は、児童とご家族との深い関わりを大切に、地域に根ざした支援を提供しています。この密接な関係性が、子どもたちの健やかな成長とご家族の安心につながっていると思う。	定期的な面談や連絡帳を通じて、保護者と情報共有を行い、子どもたちの成長や課題を共に考えています。これにより、家庭と事業所が一体となって子どもたちをサポートする体制を築いています。	家族参加型のイベントやワークショップの開催 家族全員が参加できるイベントやワークショップを定期的に開催し、家族間のコミュニケーションを深める機会を提供していきたい。
3	作業療法士(OT)、専門職員を配置し、利用者の皆さまに対して専門的かつ質の高い支援を提供しています。	作業療法士が利用者一人ひとりの身体機能や生活環境を評価し、個別の機能訓練プログラムを作成しています。これにより、利用者の具体的な生活目標に合わせた支援が可能となり、生活の質の向上を目指しています。	リハビリ管理システムを導入するなど、記録業務を効率化することで、作業療法士が利用者との直接的な関わりにより多くの時間を割けるようにしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	就学時・進学時に移行の際に小学校・中学校や特別支援学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図れていない	既存の学校とは連携とれているが新たに進学する学校とは情報共有ができていない→意識が低かった	就学・進学する児童をピックアップして学校と情報共有をして相互理解と連携を図っていく
2	バリアフリー化されている箇所が少ないため危険な箇所がある	新たにトイレに手すりを設置したり、木の奥に行かない為に柵を立てて少しずつ改善はしているが駐車場から玄関までの通路は石の段差がありつまずきやすく危険(盲学校の児童もいるので)	段差をなくして歩きやすい通路にするために工事をする予定
3	地域交流をする機会がなかなかなくて出ていない	普段平日の活動は学校から帰ってきてからなので時間も少なく室内になってしまうので近所の外にで遊ぶ機会も少ないため地域の方と会う機会がなく、回覧板を持ってこられた際と年末年始しか挨拶をする機会がなく交流を図れていない	まずは地域の掃除(ゴミ拾いや草抜き)がある際は積極的に参加を少しずつ交流を増やしていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 できさーびす あいりんご5

公表日 令和 7年 3月 26日

利用児童数 34人

回収数 25枚

	チェック項目	回答割合				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	92%	0%	0%	8%	見学に行った際に部屋数も多く 広いと思った	見学の際に部屋を見てもらっているが午前中に来られる ことが多いので実際に活動している時のスペース配分が伝 わっておらず今後はスペースが十分に確保されている事を 写真を使って分かりやすく理解してもらえようように努めて います
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	76%	8%	0%	16%	大人数での外出の時は不安な時はある	職員の人数が適切ではない時は安全面を 考慮して外出を控えるか他事業所からヘル プをもらっている
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	68%	12%	4%	16%	階段が多い。 バリアフリーではないと思う。	駐車場から玄関までの通路に石が埋め込 まれておりつまづきやすいので撤去工事 をする予定
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	84%	4%	0%	12%	快適に過ごせている様子 みんなで掃除を行っている聞いた	平日は決まった時間に声掛けをし掃除を徹底してい ます。また朝から児童が来所される場合は児童も一 緒に掃除場所の分担をみんなで協力して快適な空 間を創り上げるよう努めています。
適切 な支 援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	44%	44%	0%	12%	理解してくれていると思う	送迎の際に専門的な支援について今日は どんなことをしたか等しっかりと説明して安 心してもらえようように努めています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	48%	24%	0%	28%	合っていると思う	継続していきます
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	48%	24%	0%	28%	理解した上で計画書を作って してくれていると思います	1人1人の特性を理解したうえで保護者の ニーズにそって計画書を作成していま す。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思います か。	44%	28%	8%	20%	そう思う	継続していきます
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	64%	8%	28%	0%	そう思う。	今後本児童の成長に合わせて支援プロ グラムや内容を変更していく。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	52%	8%	24%	16%	毎日いろんな楽しそうな活動を行 ってくれている	毎月会議を行い固定化しないように興味を 持ってもらうような活動を取り入れてい くよう意識しながら月間予定を組んでいます
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会 がありますか。	32%	8%	28%	32%	わからない	放課後児童クラブでの交流は行ってい ないが毎年ピコリンフェスティバルを開 催し地域交流を図っている
保護 者へ の説 明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	60%	8%	24%	8%	見学の時に説明してもらった	見学の際に説明はもちろん、聞かれたら その都度お答えしている
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	64%	8%	0%	28%	説明してくれている	今後も継続していきます
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	32%	0%	12%	56%	家族が参加する機会はない	ご希望があった家庭は家族とその他関係している機 関との情報交換会を行っているが事業所ではご家族 が参加できる機会を作れていない
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態に ついて共通理解ができていると思いますか。	64%	4%	4%	28%	送迎時にその日の様子を伝えてくれている	仕事の都合上保護者と会えなくて兄弟に引き渡しす るご家庭もあるのでその場合は口頭ではなく一日の 様子を控えたメモを渡すようにしていきたい
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	52%	12%	8%	28%	相談したらその都度応じてくれる	半年に一度のモニタリング以外に 子育てに関するお話をする機会が少ないので送迎の 際に定期的にご自宅での様子や困っていること等話 しやすい環境を提供していきたい
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	84%	16%	0%	0%	子どもに寄り添ってくれていると思う。	これからも一人一人に寄り添った支援を していけるよう心掛けていきます
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいの支援がされていますか。	20%	32%	16%	32%	わからない	特に無し
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されてい るとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されています か。	72%	8%	0%	20%	子どもの事で相談したら解決できるよ うきちんと対応してくれている	相談があった際はすぐに対応している。 今後も寄り添っていきたくと思います	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	56%	32%	0%	12%	配慮されていると感じた。	送迎時に会えないご家庭にはメモで伝達するか電話でお伝えしているが全家庭にその日の様子が伝わるように徹底していきたい
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	36%	8%	24%	32%	当施設を知ってから時々拝見している。	インスタグラムとブログを定期的に更新し情報発信を行っている
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	40%	4%	0%	56%	されていると感じた。	個人情報の取扱いについては見学の際に説明させてもらっているが定期的に説明して理解を得ていきたい
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	48%	8%	4%	40%	マニュアルがあることは知らなかった	マニュアルすべての説明は行っていないので周知・説明をしていきたい
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20%	32%	8%	40%	訓練しているか分からない	定期的に避難訓練を実施しているがもう少し頻度を増やしていきたい
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	52%	8%	24%	16%	そう思う	安心してもらえるよう十分に説明をしていきたい
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	56%	8%	4%	32%	怪我をした際きちんと連絡してくれている	怪我や事故が発生した場合速やかに報告している
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	92%	8%	0%	0%	そう思う。毎日行きたいと発言している	ありがとうございます。安心して通ってもらえるよう定期的に子ども達の意見を聞く機会を設けています
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	80%	20%	0%	0%	毎日いろんな活動があって楽しんで通っている	ありがとうございます。楽しく通ってもらえるように今後も色々な活動を取り組んでいきたいです
	29	事業所の支援に満足していますか。	76%	4%	20%	0%	急な利用や延長にも対応してくれて助かっている	ご家族に寄り添い安心して預けてもらえるような支援を続けていきたいです

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ていさーびす あいりんご5				公表日 令和 7年 3月 26日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	部屋数も多く十分に確保出来ている。	部屋数も多いので荒れた児童や体調不良の児童は別室で落ち着ける空間がつくれている
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	83%	17%	適切である。身体介助が必要な児童が複数名いる場合や職員の体調不良等で職員数が減ってしまった時やイレギュラーで児童数が増えてしまった時は法人内の他事業所にヘルプをお願いしている。	職員が足りない時は他事業所からヘルプに来てもらうがヘルプも来れない時は安全を考慮して外出をしないようにしている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	17%	83%	バリアフリー化はされていない為過去に視覚障害のある児童が庭で転んだ事があった。	現在、業者に見積りをしてもらっていて庭（石の撤去）工事と駐車場の拡大工事行う予定
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	活動等にあっているかは別として、十分な空間はある。児童や職員が心地よく過ごせるよう	事業所内は毎日みんなて掃除をして清潔な環境を整えているが車内清掃は毎日出来ていないので綺麗に保つためにもゴミを残さないよう徹底していきたい
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	必要に応じて設置している。同時に児童だけにならないよう職員を配置している。	荒れてしまった児童や体調不良の児童など必要に合わせて別室対応で落ち着ける空間を提供している
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	83%	17%	PDCA サイクルに周知徹底しているが理解出来ていない職員がいる。	申し送り等で毎日振り返りを行っているがそれに参加できない職員もいて理解してもらえていない。参加していなくても理解してもらえるように参加出来なかった職員にも伝えるようにしていきたい
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	全てではないが取り組んでいる。	業務改善できるように貴重な意見を無駄にしないようにしていく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83%	17%	業務改善に繋がるよう善処している。個人的に何度か職員から訴えがあったが全体に周知が出来ていない事があった。	職員の意見は随時把握し改善出来る点はすぐに改善に努めている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	67%	33%	第三者による外部評価は行ってない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	月一回研修を行っている。	研修の機会が多いので十分に確保されていると思う。とても勉強になっている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	83%	17%	作成・公表されている。	今後も継続していきます
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	作成している。保護者と連絡が取りづらい児童がいる為、取れない場合は本児童に直接アセスメントを取っている。	保護者のニーズに合った計画書を作成している
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	作成時にケア会議を開催し情報共有を行っている。	デイ職員が集まって会議を行いみんなで見出し合い計画書を作成している
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	83%	17%	共有はしていないが誰にでも閲覧できる状態にしている。計画に沿って支援が出来るようその都度声掛けを行っている。	計画書を作成する前にみんなで会議をし意見の出し合いを行っている。参加していない職員にも共有を徹底していきたい
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	毎利用時にサービス確認表を作成している。	1人1人その日の様子を記録して残している
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	83%	17%	設定している。	今後も継続していきます
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	管理者・児発管が作成した案を元に会議を行い作成している。	会議を行いみんなの活動案を取り入れて作成を行っている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	固定化しないように工夫している。	固定化しないようにいろんな案を出し合いみんなが興味を持ってもらえるような活動にしている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	基本的には作成・実施しているが、出来ない日がある。	今後もこどもの状況に応じた計画書を作成していきます

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	毎朝の申し送り時に確認している。	毎日申し送りで前日の振り返りと当日の支援内容・分担等話し合いそれに沿って支援している
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	翌日の申し送り時に確認している。	翌日の午前中に振り返りえを行い出来事の共有と改善点等話し合っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	83%	17%	毎朝の申し送り時や月一のディMTやその他打ち合わせにて支援の検証・改善に繋がるよう善処している。記録が取れる時は記録している。	今後も継続していきます
	23	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	定期的にもモニタリングを行い支援の見直しを行っている。	半年に一度モニタリングを行い支援の見直しを行っている
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	83%	17%	基本的に管理者が児発管が参加している。	参加する前に事業所間で該当児童の様子等を話し合いそれをもとに会議録を作成し会議に持参している
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	整えている。	今後も継続していきます
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	している	参加する前に事業所間で該当児童の様子等を話し合いそれをもとに会議録を作成し会議に持参している
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	67%	33%	整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	行っている。	必要に応じて情報共有を行っている。送迎時のトラブル発生も適切に行っている
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	67%	33%	基本的には行っていないが、問い合わせがあった場合に対応している。	問い合わせがあった場合のみ行っていたが今は積極的に情報共有をこちらからもしていきたい
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	67%	33%	基本的には行っていないが、問い合わせがあった場合に対応している。	問い合わせがあった場合にしか情報提供していなかったが今後はこちらから保護者の同意のもと情報提供をしていきたい
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50%	50%	連携が取れるよう体制は作っているが機会がない。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	33%	67%	基本的にはしていない。	交流する機会がない。地域のこどもとも交流する機会を作っていきたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0%	100%	参加していない。	参加できていない
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時や電話連絡でその日の出来事等の情報共有を行っている。	送迎時に保護者に会えない場合は電話等でしっかりと伝達を行っている
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	33%	67%	行っていない。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時や変更があった際に行っている。	契約時に説明している。質問があった際はその都度対応している
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	83%	17%	作成する際に事前にモニタリングやヒアリングを行いニーズが反映できるよう作詞している。	今後も継続していきます
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	基本的には同意の上で支援を行っている。	説明を行い同意の上でサインをいただき支援を行っている
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	面談は行っていない。問い合わせがあった際や送迎時にそのような話があった際は対応している。	相談があった際はその都度迅速に対応している。こちらからも定期的に気にかけるようにする
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	17%	83%	参加していない。	ご家庭のご都合などもあり現在保護者同士の交流する機軸の場は設けていません。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	苦情があった際に事実確認を行った上で迅速かつ適切に対処している。	急な相談なども出来るだけ応えて適切に対応を行っている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	インスタグラムやブログで公開している。その日の出来事は写真付きの連絡帳で公開している。	インスタグラムは週1・ブログは月2回アップしている。また毎日その日の様子を写真付きで連絡帳を印刷し配布している。

非常時等の対応	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	十分に注意して業務にあたっている。	今後も個人情報の取扱いには十分に気を付けて扱っていきます
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	配慮している。	今後も安心して預けていただけるように配慮していきます
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%	基本的には行っていないが、年一回法人でフェスを開催している。	年に一度のピコリンフェスティバルで地域交流を図っているが継続して開催していく予定です。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	作成・周知している。年に何回か訓練も行っている。	今後も継続していきます
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	作成・周知している。年に何回か訓練も行っている。	災害の発生に備えて年に何回か訓練を行っている。継続していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	確認している。	契約時に確認をしている。また薬が変わった際も連絡を受けて職員間で周知している。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	医師の指示書はないが契約時や変更があった際にご家族に確認している。	今後も継続していきます
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	行っている。	今後も継続していきます
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	周知している。	今後も継続していきます
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	申し送りで共有して対策・検討している。	毎日申し送りでも共有をし再発防止に向けて職員間で周知と改善策を話し合っている
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	年間に何度か研修を行いその都度対応している。	定期的に虐待防止委員会が開かれて研修機会を確保出来ている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	83%	17%	年間に何度か研修を行っている。だが、事前に説明・計画もしていないのに実施した案件があった。	やむを得ないうえで十分に説明しご家族から了承を得た上で行う	